



公益財団法人  
岩手県予防医学協会  
幼老統合施設  
Cocoa -ココア-

施工地／岩手県盛岡市北飯岡4-8-50  
竣工年月／平成27年2月  
敷地面積／3,659.41㎡  
述べ床面積／981.96㎡  
構造／鉄骨造平屋建

## 異世代間交流の相乗効果

「岩手県民の健康と福祉に寄与する」ことを基本理念に、一人ひとりの健やかな笑顔を支える総合健康支援機関として、県民の健康づくりに貢献されてきました公益財団法人岩手県予防医学協会様が、平成27年4月、健康診断や人間ドック等の健診サービスをおこなう「Big Waffle」と同一の敷地内に「幼老統合施設Cocoa-ココア-」をオープンいたしました。幼老統合施設Cocoaは0歳から5歳児を対象とした定員71名の保育所と近隣地域の子どもたちを受け入れる児童クラブに加えて、1日約15名の高齢者が利用できる高齢者向けデイサービスから成る複合型の福祉施設です。異世代間の交流を通し子どもたちの健全な人格形成の醸成に役立ち、高齢者のメンタル面や運動機能面などを支え合う本施設は、幼児・児童の健やかな育成と高齢者の健康寿命の延伸を目的とする先駆的な施設として計画されました。

## 交流を自然に生み出す 空間構成

本施設の計画では、子どもたちと高齢者の交流が日常的に生まれる場の創造として、園庭を中心に保育所機能とデイサービス機能が向かい合せになるよう施設を円形状に配置し、諸室の機能のつながりを高めながら一体感を感じられやすく、お互いの生活の様子を垣間見ることができる構成としました。

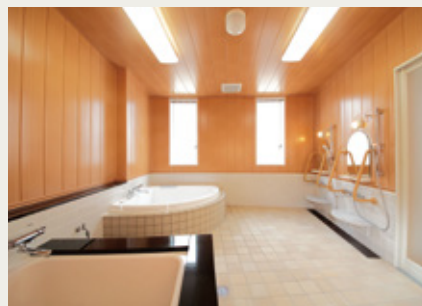
諸室から直接出入りができ施設利用者同士が容易に触れ合える園庭は、内部と外部との空間の連続性を確保し、また児童クラブの学習室とデイサービスの諸室を隣接させ自然発生的に生まれる交流が効果的な幼老統合ケアにつながる計画といたしました。



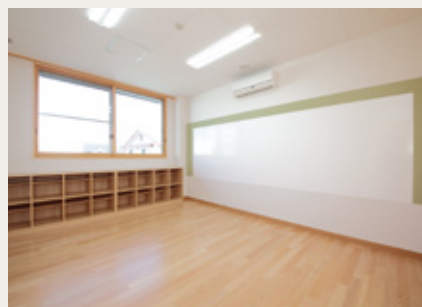
デイサービス・児童クラブ玄関



食堂・機能訓練室



浴室



児童クラブ・学習室

## 生活空間への配慮

施設内部においては利用する子どもたちや高齢者が快適に過ごすことができるよう心地よい空間づくりに配慮し計画をいたしました。保育所では下足入れやロッカーなどの家具サイズやトイレ・水道設備の高さや巾を細やかに設定し、子どもたちの体に応じたモジュールで計画をしました。また元気に駆け回る子どもたちの遊びの場となる遊戯室は高窓から降り注ぐ陽光・通風により明るく快適な解放感あふれる空間とし、保育室は南向きとして採光に恵まれた明るい保育群を形成しております。また主要な居室は遊戯室を取り囲むように配置し、廊下を設けず施設内の面積の有効利用を図りながら、子どもたち同士の年齢を超えた交流が育まれやすい空間となっております。保育所と共にデイサービスにおいては、随所に木質系素材を多用し自然素材が持つ優しさを表現し、施設全体が木のぬくもりを感じられる快適な空間といたしました。寒冷地における冬期間の対策としては施設全体に床暖房設備を設けました。床からの暖かさにより素足で過ごせる柔らかな室内環境は施設利用者の生活を優しく包み込みます。



保育所玄関



保育室



子どもたちのトイレ



遊戯室



遊戯室

配置図・平面図

